

第1章 調査の概要

第1節 調査の目的

モータリゼーションの進展する中、県民のライフスタイルや価値観が変化している。都市部郊外の大型店やロードサイド店などの出店により、消費行動の対象地域が中心部から分散化し、特に土曜日、日曜日等の郊外へのショッピング等は増加傾向にある。他方、中心市街地においては商店街の衰退や居住人口の減少などにより賑わいや活力が失われつつある。

このままの成り行きにまかせると、中心市街地は求心力を失い、商店街等の果たしてきた役割が消失することになる。その役割とは、地域独特の伝統・文化、人と人とのふれあい、治安、生活の利便性、そして地域経済の循環などが挙げられる。

このような現状認識のもと、本研究は、中心市街地のゴーストタウン化を未然に回避し、その社会インフラを有効に活用するための市街地再生・都市再活性化のビジョンの策定を行うことを目的としている。なお、本報告書ではモデルケースとして米子市について取りまとめている。

第2節 調査フロー

